



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 リゾートソリューション株式会社
コード番号 5261 URL <http://www.resol.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平田 秀明

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当取締役

(氏名) 仮屋 毅

TEL 03-3344-8811

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,222	△12.4	△170	—	134	△62.9	221	39.8
23年3月期第3四半期	15,099	△8.5	78	△79.6	361	△55.6	158	△54.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 248百万円 (56.7%) 23年3月期第3四半期 158百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	3.99	—
23年3月期第3四半期	2.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	29,757	8,672	28.9
23年3月期	29,357	8,554	29.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,598百万円 23年3月期 8,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	△2.3	100	△27.2	700	△0.2	350	7.0	6.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	55,642,000 株	23年3月期	55,642,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	83,352 株	23年3月期	80,499 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	55,560,033 株	23年3月期3Q	55,563,575 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	1
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 追加情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、一部には東日本大震災の復興需要等の好影響はみられるものの、欧州経済危機に端を発した世界的な経済状況の悪化や円高、株式市場の低迷、あるいは消費税引き上げ問題など、今後の日本経済は依然として予断を許さない状況にあります。

当社グループの主力事業であるゴルフ場・ホテル等のリゾート業界では、国内の需要の低迷に加え、風評被害により海外からの旅行者が激減し、夏場以降徐々に持ち直しつつあるものの、いまだ本格的な需要回復には至っておりません。

このような環境下、当社グループでは「顧客満足度の向上」を目指して、サービス品質の見直し、改善に注力するとともに、各種会員に対する商品やメニュー等のお役立ち情報の発信を強化してまいりました。また、経営基盤の強化のため、徹底した経費の削減を進める一方で、サービス向上のための人員再配置など企業体質の強化を推進してまいりました。

ゴルフ運営事業におきましては、良好なコースコンディションを維持するための「オールシーズンハイクオリティ」を徹底するとともに、気候の変化に対応したサマータイム制の導入など幅広くサービスの向上に努めました。

また、新たなゴルフ場といたしましては、7月に山梨県の西東京ゴルフ倶楽部（旧Take1カントリークラブ）を取得、11月より佐賀県の唐津ゴルフ倶楽部の運営受託を開始、12月には福島県の福島石川カントリークラブ、栃木県の南栃木ゴルフ倶楽部（旧永野ゴルフ倶楽部）を取得いたしました。

ホテル運営事業におきましては、“くつろぎ” サービスを提供する「リソルホテル」チェーンの新たなホテルとして10月1日に「ホテルリソル博多」を開業し、好評を博しております。

開発事業におきましては、ゴルフ場、ホテル、旅館の再生ビジネスに注力しており、上記のゴルフ場の取得・受託を手がけました。今後ともゴルフ場を中心に再生事業を拡大してまいります。

福利厚生事業におきましては、主力商品である「ライフサポート倶楽部」の会員メンバー向けの各種プランを充実するとともに、企業の細かなニーズに対応したセミオーダー型プランを提供するなど、業容と収益の拡大に努めております。

リゾート事業におきましては、ゴルフ・リゾート会員権の仲介事業は流通相場の低迷により弱含みで推移するものの、一方で一泊からご利用いただける家具つき高級レンタル別荘「スイートヴィラ」の販売は順調に推移いたしました。

平成12年より当社が「日本土地改良株式会社」の更生スポンサーとして運営しておりました「生命の森リゾート」の更生手続きが本年9月に前倒しで終結いたしました。更生の手続き終了を受け、今後はスポーツと健康とやすらぎをテーマに投資再開のアクションプランを策定いたします。

以上の結果、当第3四半期累計期間は、震災により運営事業を中心に売上は減少いたしました。全グループ企業での経費削減などの企業体質の強化に努めた結果、売上高は13,222百万円（前年同期比12.4%減）、経常利益134百万円（前年同期比62.9%減）、四半期純利益221百万円（前年同期比39.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて399百万円増加し、29,757百万円となりました。これは、主に現金及び預金が766百万円、売掛金が614百万円それぞれ減少したものの西東京ゴルフ倶楽部株式会社及び南栃木ゴルフ倶楽部株式会社の新規連結等により固定資産が1,590百万円増加したこと等であり

ます。負債につきましては、前連結会計年度末に比べて282百万円増加し、21,085百万円となりました。これは主に、長期借入金1,288百万円、未払法人税等が94百万円それぞれ増加したものの預り保証金が1,260百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想については、平成23年5月17日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,526,818	3,760,172
売掛金(純額)	1,382,330	768,029
商品	127,886	132,976
販売用不動産	1,094,380	1,136,569
貯蔵品	111,404	155,007
その他(純額)	1,224,255	1,323,383
流動資産合計	8,467,076	7,276,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,731,720	4,910,311
土地	1,645,106	2,972,044
その他(純額)	870,468	992,383
有形固定資産合計	7,247,296	8,874,740
無形固定資産		
のれん	1,348,824	1,403,269
その他	349,540	351,001
無形固定資産合計	1,698,364	1,754,270
投資その他の資産		
投資再生不動産	9,143,347	8,994,554
その他(純額)	2,801,641	2,857,565
投資その他の資産合計	11,944,988	11,852,120
固定資産合計	20,890,649	22,481,131
資産合計	29,357,725	29,757,269

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	416,460	440,574
短期借入金	6,555,200	6,582,400
1年内返済予定の長期借入金	107,500	478,300
未払法人税等	47,513	141,565
賞与引当金	105,566	48,865
その他	2,080,856	2,395,813
流動負債合計	9,313,095	10,087,518
固定負債		
長期借入金	473,000	1,761,000
長期預り金	413,390	465,495
預り保証金	6,498,664	5,238,081
更生担保権	1,859,722	—
退職給付引当金	470,455	483,166
従業員特別補償引当金	70,000	70,000
資産除去債務	174,552	191,085
その他	1,529,935	2,788,846
固定負債合計	11,489,720	10,997,676
負債合計	20,802,816	21,085,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,523,487	2,523,487
利益剰余金	1,817,561	1,872,607
自己株式	△17,763	△18,163
株主資本合計	8,271,373	8,326,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	△50
土地再評価差額金	251,624	272,948
その他の包括利益累計額合計	251,589	272,897
少数株主持分	31,946	73,156
純資産合計	8,554,909	8,672,074
負債純資産合計	29,357,725	29,757,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	15,099,345	13,222,489
売上原価	7,072,232	6,474,843
売上総利益	8,027,113	6,747,645
販売費及び一般管理費	7,948,426	6,917,946
営業利益又は営業損失(△)	78,687	△170,301
営業外収益		
受取利息	28,953	12,945
投資事業組合等利益	834	3,227
投資再生関係会社株式売却益	176,229	—
債務消却益	143,347	142,253
投資再生不動産売却益	—	204,471
その他	25,924	96,442
営業外収益合計	375,288	459,340
営業外費用		
支払利息	90,626	108,756
投資再生関係会社株式売却損	—	43,345
その他	1,579	2,896
営業外費用合計	92,205	154,998
経常利益	361,770	134,041
特別利益		
債務消却益	—	400,800
その他	—	12,279
特別利益合計	—	413,079
特別損失		
事業所整理損	—	2,699
従業員特別補償金	—	8,026
従業員特別補償引当金繰入額	33,400	11,750
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98,644	—
会社分割による減損損失	563,864	—
関係会社株式売却損	—	42,934
その他	29,801	11,180
特別損失合計	725,709	76,590
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△363,939	470,530
法人税、住民税及び事業税	101,749	137,271
法人税等調整額	△624,416	106,057
法人税等合計	△522,667	243,328
少数株主損益調整前四半期純利益	158,727	227,201
少数株主利益	121	5,470
四半期純利益	158,605	221,730

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	158,727	227,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△153	△15
土地再評価差額金	—	21,324
その他の包括利益合計	△153	21,308
四半期包括利益	158,573	248,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,452	243,038
少数株主に係る四半期包括利益	121	5,470

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゴルフ 運営事業 (千円)	ホテル 運営事業 (千円)	開発事業 (千円)	福利厚生 事業 (千円)	リゾート 関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,647,783	5,968,063	20,750	1,595,058	867,691	15,099,345	—	15,099,345
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,647,783	5,968,063	20,750	1,595,058	867,691	15,099,345	—	15,099,345
セグメント利益 又は損失(△)	957,546	△117,895	20,750	△214,334	33,059	679,125	△600,438	78,687

(注) ①セグメント利益又は損失(△)の調整額△600,438千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

②セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第2四半期連結会計期間よりプリシアリゾートヨロン(株)の新設分割に伴い承継したホテル運営事業の一部の固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を会社分割による減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間において563,864千円です。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゴルフ 運営事業 (千円)	ホテル 運営事業 (千円)	開発事業 (千円)	福利厚生 事業 (千円)	リゾート 関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	5,813,829	5,286,486	2,400	1,398,996	720,776	13,222,489	—	13,222,489
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,813,829	5,286,486	2,400	1,398,996	720,776	13,222,489	—	13,222,489
セグメント利益 又は損失(△)	662,036	△17,734	2,400	△321,655	△34,694	290,351	△460,652	△170,301

(注) ①セグメント利益又は損失(△)の調整額△460,652千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

②セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ゴルフ運営事業」において、第2四半期連結会計期間より西東京ゴルフ倶楽部株式会社(旧Take 1カントリークラブ)の株式を取得し、同社を連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期累計期間においては165,611千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「ゴルフ運営事業」において、南栃木ゴルフ倶楽部株式会社(旧永野ゴルフ倶楽部)の株式を取得し、同社を連結子会社としました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては12,279千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

従来まで区分掲記しておりました固定負債の「更生担保権」は、当社連結子会社である日本土地改良株式会社の更生手続が平成23年9月28日付をもって終了したことに伴い、固定負債の「その他」に含めて表示しております。